

黒門 小地区 コミュニティ委員会

黒門小地区コミュニティ委員会は、平成3年3月に黒門小学校地区の住民が中心となり設立されました。

年1回のコミュニティ祭りとお野地区盆踊り大会のイベントがあり、地域の方々と楽しく交流しております。コミュニティ祭りは当委員会に参加している団体だけではなく、近隣の町会の方々にも来ていただき、100名以上参加の下ビーチボールやボウリングに汗を流します。今後も、地元根付いたコミュニティ委員会を目指したいと思います。

運営委員長 田嶋 章好

コロナ禍後初の上野地区 盆踊り大会で感じたこと

当委員会は行事が豊富です。総会をはじめ、盆踊り大会、バザー、ボウリング大会など普段活動している団体の枠を超えて団体同士、また、地域の方々と交流を行っております。コミュニティに加入した最初の頃はコミュニティ活動に馴染めるか不安に思っていました。いざ参加してみると堅苦しい雰囲気はなく、皆が楽しんで活動しているのがとても印象的でした。今となっては一つひとつのイベントが楽しみです。

タイトルで一度触れましたが、先日、数あるイベントの一つである上野地区盆踊り大会が、コロナウィルスの流行以降に初めて行われました。その時の様子を一部ですがご紹介させていただきます。令和5年8月4日、この時期特有の

はじめとした暑さが残る中、盆踊り大会のメイン会場になっている校庭へ到着すると、まず目に飛び込んでくるのは立派に組まれたやぐらです。真ん中から四方に伸びる提灯が盆踊り大会の雰囲気を一層盛り上げます。やぐらを囲むように踊り手のお姉様方、見よう見まねで参加する子供達、早くも酔っぱらったサラリーマンなど皆それぞれ楽しそうに盆踊りを踊っていたのがとても印象的でした。



イベントが行われており、多くの子供達で賑わっていました。



盆踊り大会といえば屋台も外せません。上野地区盆踊り大会の屋台メニューはとても豊富です。ソースと紅生姜が食欲をそそる特製焼きそば、パリッとした皮と肉厚でジューシーなフランクフルト、ほどよいしょっぱみがあつてホクホクのフライドポテト、みんな大好きポップコーン、物価高騰など関係なしの破格のかき氷、ビール（なんと1杯300円！）等々。お祭りなど人が多く集まるイベントのほとんどが中止になっていたコロナ禍では味わえなかったものばかりでした。また、体育館では射的、輪投げ、ボール投げなどのイ

ほかにも、荻野目洋子さんのダンシング・ヒーローで盆踊りを踊ったり、なかなかお会いできなかった方と偶然お会いしたり普段得られない刺激が多くありました。

盆踊り大会の魅力やコミュニティの雰囲気を多くの方にお伝えしたかったのですが、私の稚拙な文章では到底お伝えしきることはできなかったと思います。ぜひ、来年は皆さんも盆踊り大会にお越しください。コロナ禍で忘れていた素晴らしい体験が待っているはずですよ。

石浜 小地区 コミュニティ委員会

コロナ禍の中、令和2・3・4年度は思うように活動出来ませんでした。途切れ途切れの活動の中、1F会議室で行っていた利用受付・集金を密を避けるため、1Fの会議室（校庭・会議室利用）2Fの会議室（体育館利用）に分けて、感染防止に注意を払って参りました。

令和4年10月16日に「はまっ子まつり」が3年ぶりに行われました。ゲームの数を増やし大抽選会を行い時間を短縮して利用団体にお手伝いをお願いしました。模擬店も行いませんでした。

例年、2月の第三日曜日の午前中に「避難所訓練」を町会の方々と共に行い、午後は利用団体希望者で「ビーチボール大会」を行っていましたが、3年間で中止になっています。

5月からコロナウィルスが5類になりました。まだまだ安心して活動出来る状況ではありませんが、今年度はなるべく例年通りに活動する様にしました。10月には「はまっ子まつり」を行い、模擬店・児童館のハロウィンを復活します。令和6年2月には「ビーチボール大会」のみですが行う予定です。これからも地域町会・PTA・利用団体の方々と共にコミュニティ委員会として地域に根差す活動を行って行きたいと思っています。

運営委員長 小嶋 幸一

